

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	有限会社オカベ			
所在地	東京都目黒区原町一丁目 34 番 10 号			
業種	D 建設業			
常用労働者数	4 人			
事業内容	建設業（鳶工事、土木工事、内装仕上工事、空調設備工事、他）			
ホームページ	公式ホームページなし			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年9月10日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送付）			
③回収率	対象者（都内全従業員）4名のうち回収数4名 回収率 100%（回収数／対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について アンケート調査により「介護をした経験がある」従業員は全体の25%（1名）で、その者については「現在も介護を行っている」という回答を得た。また、介護についての勤務先での相談者は「同じ職場の上司」であった。 ・今後の従業員の介護見込みについて 介護の経験がない従業員については、全員が今後についても「介護の可能性はない」と回答している。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する社内制度の認知状況については、「利用したことがあり、名称も利用方法も知っている」25%（1名）、「制度があることは知っているが、内容はわからない」75%（3名）である。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 介護をすることに対する不安については現在介護をしている従業員については「不安を感じる」と回答している。 また、介護をしながら現在の職場で働き続けられることができるかに対して、「続けられる」回答している。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護が生じたときの望ましい働き方としては、「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、介護と仕事を両立する」という回答が75%と多く、次に「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」が25%であった。 			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年9月17日			
②メンバー	総計3名（うち都内勤務の従業員2名） （メンバー内訳） 役員、従業員、従業員			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	9月17日	15:30～16:30	活動内容及びスケジュールの確認	3名
	9月17日	16:30～17:00	調査結果概要説明、目標案の掲示	3名
	9月24日	16:30～17:00	目標について意見交換、目標確定	3名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年10月～ 介護休業制度を利用しやすい環境づくりのために、年に1回程度管理職を対象にした研修を行い、介護休業制度が必要な従業員に対応できるようにする。				
令和4年11月～ 介護の必要が生じたときのために、公的介護保険制度も含めた介護支援制度についての研修を実施する。				